

世田谷幼稚園卒園生、保護者の皆様

ご入園を希望している皆様

世田谷幼稚園 2026 年度園児募集停止のお知らせ

今日迄、世田谷キリスト教会附属世田谷幼稚園は福音宣教の一端を担って教会と共に歩み100周年という記念すべき年を迎えられますことに喜びと感謝を覚えます。しかし此度、世田谷基督教会附属世田谷幼稚園は苦渋の決断を余儀なくされましたのでご報告申し上げます。

世田谷幼稚園は、2026(令和8)年度以降の園児募集を停止し、現在、在園している園児全員が卒園される2028(令和10)年3月末日をもって閉園させて頂くことになりました。5月4日(日)設置者である「宗教法人世田谷基督教会」の臨時総会において、仕方なく承認されました。在園中の園児と保護者の皆様には多大なご迷惑をおかけすることとなり、大変申し訳なく思っております。重ねて今後、ご弟妹の入園をご希望しておられる保護者の皆様、どうか御許してください。

教会の働きの重要な位置にある、当幼稚園は、戦前、戦中、戦後、今に至るまで、祈りと労苦を重ね守って参りました。しかし、昨今の少子化、人口減少、物価高騰、人材不足、そして、国は幼保一元化「認定こども園」の政策にシフトしています。世田谷幼稚園も加速的な少子化の影響を受け、園児数の保育料と補助金だけでは賄えない状況が2022年から続いており、母体、設置者である世田谷基督教会からのサポートなしでは困難な状況であります。5年前の2020年度在園児数は68名で現在はその半数34名になってしまいました。

そのような中、園児、財源確保に向け、ぶどうの会主催ミニバザー、有志によるミニコミ誌発行などの数々の保護者の皆様からの多大なご協力を与えられ、感謝致します。また、園では遊具の改修(教会負担)、幼稚園HP更新、預かり保育と2歳児ひよこ組の拡充、未就園児の親子ふれあい会等の最善を尽くしてまいりました。

2025年度の新入園児は当初は5名、現在は7名が与えられました。しかし今後の動向を鑑みますと更に厳しい状況が予想されます。併せて建物、設備の老朽化等の課題もあります。2026年度以降の新入園児募集を停止せざるを得ない苦渋の決断となりました。既に世田谷区では3園が閉園となっています。今年も来年も閉園の幼稚園が予定されています。どうかご了承ください。

今まで有形無形の形で、園のためにご協力、ご支援くださったすべての皆様に感謝申し上げます。特に献身的に子どもたちのために保育の業に携われた先生方は幼稚園の「宝」です。この先生方の前途を考える時、園長として断腸の思いであります。勝手ながら、どうかお祈りくださいますようお願い致します。また、今日に至るまで世田谷幼稚園を愛し、支え守ってくださった皆様方に重ねてお礼を申し上げます。

やむを得ずこのような状況となりましたが、在園児はもとより現在の園児が卒園するまで、教職員一同これまでと同様に責任をもって保育に取り組んでまいります。また、引き続き、ひよこ組の未就園児保育も行なってまいります。

なお、在園期間中は途中入園も受け入れております。

100年間皆様に愛されて支えられてきました。記念すべき節目に歴史ある世田谷幼稚園を閉じることは断腸の思いであり、残念でなりません。しかし諸事情をご賢察のうえ、何卒ご理解くださいます様、心よりお願い申し上げます。

永年に渡り当幼稚園を愛してくださった卒園生、保護者の皆様、また園のために、ご奉仕、ご支援くださったすべての皆様に感謝し御礼を申し上げます。ありがとうございました。

世田谷基督教会附属世田谷幼稚園

園長 羽生 基雄